

平成 28 年度 【 学園研究費助成金 < A > 】 研究成果報告書

学部名 教育学部

氏名 宇土泰寛

研究期間 平成 28 年度

研究課題名 水問題についての大陸間教育と大陸間ミュージカル広場

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	宇土泰寛	教育学部	教授
研究分担者	渡邊 康	教育学部	准教授
研究分担者	川野幸彦	附属小学校	教諭
研究分担者	林 敏博	教育学部	非常勤

1. 本研究開始の背景や目的等 (200 字～300 字程度で記述)

地球上で大きな課題になっている水問題について、国連は、2016 年から 2030 年まで、SDGs (持続可能な開発目標) を掲げ、世界的な規模で、水・気候変動教育を実施しようとしている。この世界的な規模での動向とリンクし、日本、ブルキナファソ、フランスの学校とつながりながら、大陸間水プロジェクトは、子どもたちが大陸を越えて学び合い、世界に向けて、子どもたちのメッセージを表現していくことを目的に、次のような段階を経て、本研究を実施した。

第 1 段階 2014 年 4 月～2015 年 3 月 水問題と音楽を融合した新たな方法を目指す。
 第 2 段階 2015 年 11 月 合唱「I LOVE WATER」を 3 か国で実施し、発表した。
 第 3 段階 2016 年 9 月 ブルキナファソから来日し、ミュージカル公演を実施した。
 第 4 段階 2017 年 3 月 東海地域のジオラマと演劇的活動を融合した合成映像を作った。

2. 研究の推進方策 (300 字程度で記述)

- 水問題をテーマにした学校間ネットワークの拡大
 椛山女学園大学附属小学校での実践を継続しながら、ユネスコスクールの重視する学校間ネットワークとして公立学校とも連携し、専門家ともつながり、ミュージカル公演を実施できた。
- 各国、各地域の探究的な学びと地域調べ・地域研究を基盤にした大陸間教育
 日本の東海地区の子どもたちの水問題の学びを学校や地域のジオラマで実施し、その実態から、水の多い木曾三川の輪中地帯、水不足に悩んだ知多半島などを歴史的に探究しあつた。ブルキナファソの子どもたちも、自らの国の水問題を探究し、学校訪問でも発表した。
- 大陸を越えた学び合いをミュージカルによる表現活動を通して、愛知・名古屋から世界へ国境を越えて伝え合う手段として、身体表現、音楽リズムという国境を越えて共有しやすいミュージカルを用いることにした。更に、ジオラマと演劇を融合した合成映像にも挑戦した。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

水問題についての大陸間教育と大陸間ミュージカル広場のプロジェクトでは、教育の革新、地域づくり、国際交流など、多くの成果を生み出した。

①大陸を越えた多様な子どもたちとの協同的な学び

グローバル人材育成に向けて教育の質的転換を国境を越えた協同的な学びとして実現した。

②グローバルとローカルが交差する新たなグローバル教育へのアプローチ

各大陸のローカルな知を国境を越えて持ち寄り、グローバルな知の形成を具体的に図り、従来の国際理解教育の構造を転換し、新たな国際理解教育のアプローチを探究した。

③地域探究学習の学びを地球的課題の学習、そしてミュージカルによる表現のステージへ

各大陸の子どもたちの調べた知を、大陸を越えた協同的な学び合いを通して、地球社会へのメッセージとして、ミュージカル「I LOVE WATER～人と水の精の物語」で表明した。

④日本国内の学校のグローバル化と多文化共生を図る学校改革のモデルへ

水をテーマにした大陸を越えた学び合い、そして表現活動は、日本国内の学校における教室の学びの枠を広げ、新たな学び合いのステージを創り、日本の学校改革のモデルとなるもので、教室の外国人児童生徒も活躍でき、多文化共生の空間をつくることにつなげることができた。

⑤愛・地球博の基本理念と椙山女学園の理念を広め、継承する新たな手法の開発

愛・地球博の「自然の叡智」「地球大交流」と椙山女学園の「人間になろう」を合成映像の手法を使い、映像ベースで行い、基本理念を子どもたちがより多くの国々や大陸に広めることができ、日本国内の世代間でも継承できるような新たな手法の開発を行った。

⑥現代社会の課題に対して、グローバルな視点から、大陸を越えて協働し合う若者たち

次の時代を担う子どもたちや若者が大陸を越えて協働し、地球上に問題解決のためのメッセージを創り、伝えると同時に各自の生き方を革新し、グローバルな視点で探究する態度づくりを行った。椙山女学園大学の学生も参加し、世界の子どもたちとも交流できた。

4. キーワード (本研究のキーワードを1項目以上8項目以内で記載)

①水問題	②気候変動	③大陸間教育	④協同的な学び
⑤プロジェクト学習	⑥ミュージカル	⑦ジオラマ	⑧ブルキナファソ

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

- ・名古屋市立西築地小学校でミュージカル「I LOVE WATER～人と水の精の物語」公演
 - ・中日新聞 (2016.9.18) 朝刊「ブルキナファソの児童来日 愛知用水の歴史学ぶ」
 - ・中京テレビ放送の報道番組『キャッチ』 (2016.9.22) で、放映された
 - ・宇土泰寛、水と音楽と子どものメッセージがつなぐ大陸間教育交流～椙小から地球子ども広場のネットワーク活動へ～、椙山人間学研究 2017、Vol.12、p163-177、
 - ・宇土泰寛・林敏博、地域の水の学習から大陸を越えた水の全校合唱～アフリカとヨーロッパの大陸間教育交流の一環として～、日本国際理解教育学会第 26 回研究大会、2016.6.18
- 今後の展望

世界の動向と次期学習指導要領など日本の動向も踏まえて、子どもたちの主体的で協働的な学び合いを重視し、これまで実施してきた水の学び合いのジオラマとミュージカルを融合した合成映像による大陸を越えた交流を探究し、地球時代の教育実践を創出していきたい。